

「書くこと」による論理的思考力と感性の育成に向けての試み

栃木県下都賀郡都賀町立都賀中学校

すなかわひろし
砂川博史

【実践の内容】

「書くこと」の学習活動を通して、論理的思考力を身につけ、さらに言語に対する感覚を養い、豊かな感性を培うことができる場を作るために、次のような学習過程を構想した。

(1) 書くことによる論理的思考力の育成：

「例証」を利用した意見文指導

(2) 書くことによる豊かな想像力を培う試み：

豊かな言語感覚を養う詩の鑑賞文指導
論理的思考力育成と豊かな言語感覚を培うこと、

そしてその二つの接点をめぐって、効果的な学習活動と指導法の改善を図ろうとする一つの試みである。

【論文内容の紹介】

1 研究のねらい

「書くこと」において育成可能な具体的能力として、論理的思考力を「論証能力」と規定し、その定着を図るための学習指導の展開を考察しようと考えた。また、考える、感じる、想像する、表すという能力を支える基盤として言語感覚や感性を育てると同時に、言語を操作・処理する能力を育てることの重要性を踏まえ、課題の検証を試みることにする。

2 研究の実際

(1) 「例証」を利用した意見文指導

ここでは、「説明的文章（論証的文章）」のもつ論理性や整合性を意見文表現指導に応用しようとする指導過程を実践し考察する。

①説明的文章（教材文）全文の文章構成（問題提起・陳述・論証〈例証〉・反論・結論）の把握・理解。

②文章構成の理解（「例証」の指導・説明）。

③表現活動（意見文を書く）。

ア事実をあげたり、問題点を示したりする。
イ問題点に対する意見や主張を述べる。
ウ自分の意見や主張が正しいことや有効であることの根拠をあげる（「例証」）。

* 「例証」の利用—同じ種類に属する一つの事例をあげ、他方よりもよく知られている事例によってもう一方の事例を論証する。

④予想される反対意見に対し、それが正しくないこと、不十分なことを、その理由を簡条書きであげて述べる。

⑤意見や主張をまとめる（推敲や相互評価）。

(2) 豊かな言語感覚を養う詩の鑑賞文指導
詩の中のことばに注目し、表現された世界を想像し、新たな発見や感動を鑑賞文として、自分のことばに置き換えて表現する学習を構想し実践を試みた。

①詩のことばの意味をとらえ、表現に学ぶ。

②表現の意味を踏まえ、詩のことばや詩に詠まれた内容を自分のことばで言い換える。

③「永久欠番」（教科書教材）の意味を考え、自分の感想と合わせて文章に書く。

④生徒各自が選んだ歌詞について、そのことばや表現の意味をとらえ、ことば本来の意味を参考に想像力をはたらかせ、自分のことばで言い換える。

⑤歌詞全体の表現している世界（作者の思い・メッセージなど）をイメージし、表現を工夫した鑑賞文にまとめる。

⑥友人相互で鑑賞文を読み合い、優れた点を指摘する（相互評価による共有と深化）。

3 成果と今後の課題

本実践では、論理的思考力育成と豊かな言語感覚を培うために効果的な学習指導法の一例を提示することができた。今後はさらに書くことの指導の系統性・段階性と指導の重点化を図っていきたい。私自身が論理的思考力と豊かな言語感覚とを身につけておくべきことは言うまでもないと、意を新たにしている。